

大阪・関西万博 来場者輸送具体方針(アクションプラン)第4版 改定要旨

凡例：＜ 第4版における章等の番号 ＞

1. 機関分担率 ＜ 3 ＞

- ・2024.2の中長距離直行バス等の調査結果を踏まえ、機関分担率を鉄道12.4→12.9万人(55→57%)、駅シャトルバス等3.5→3.0万人(15→13%)に変更。※22.7万人/日 [更新]

2. 水上交通 ＜ 4. 4) ＞

- ・夢洲北岸周辺水域における航行方法等の取りまとめ [新規]
- ・浮棧橋使用規約の制定 [新規]

3. 交通ターミナル ＜ 5. 1) ＞

- ・指定乗降場所以外の乗降防止対策のため、タクシー事業者への運転士指導要請、配車アプリにおける乗降場所の限定、周辺道路への警備スタッフの配置等を実施 [新規]
- ・タクシー乗降場での乗車待ちやタクシー待機スペースの状況等をタクシー事業者等へリアルタイムで提供 [新規]
- ・タクシードライバー向け講習会等を開催し、夢洲第1交通ターミナルへの乗り入れは、同講習会受講者が運転する車両に限る等の運用を実施 [新規]

4. 万博P&R駐車場 ＜ 5. 3) ＞

- ・P&R利用に関する料金は、日時・経路等で料金を変動するダイナミックプライシングを導入 [新規]
- ・万博P&R駐車場にゆずりあい駐車区画を確保 [新規]

5. 夢洲障がい者用駐車場 ＜ 5. 4) ＞ [新規]

- ・事前予約制として運用、各駐車マス及び乗降場配置を明示 [新規]
- ・警備スタッフの配置や案内看板等の設置により適切に誘導 [新規]

6. 自転車駐車場 ＜ 5. 4) ＞

- ・コスモスクエア駅周辺の自転車駐車スペースは、予約不要かつ無料で運用 [更新]

7. 持続可能性に配慮した取組 ＜ 6 ＞

- ・バス乗務員の休憩と併せて継ぎ足し充電を実施し、バス事業者の営業所への回送を減らす等により、必要となる運用車両数を最適化 [追記]
- ・EV自家用車向け充電器の利用は、万博P&R駐車場と併せて予約 [追記]

8. 交通分野における新技術の取組 ＜ 7 ＞ [新規]

- ・EVバス車両の一部を活用し、「舞洲万博P&R駐車場～夢洲第1交通ターミナル」、「大阪駅(南)・新大阪駅～夢洲第1交通ターミナル」のうち、淀川左岸線(2期)区間等において、自動運転を実証 [新規]
- ・水素燃料電池船の実用化のため、夢洲と市内中心部を結ぶ航路の実現を図る [新規]

9. その他の輸送円滑化対策 < 8. 4) >

- ・夢洲観光外周道路等における会場アクセスバス等の円滑な通行を確保するため、必要な交通規制を調整 [更新]
- ・交通案内誘導サインは、道路、鉄道・バス、船舶等で交通モード共通のデザインを採用 [新規]

10. 来場者に向けた交通サービスの連携及び情報提供 < 8. 5) >

- ・関係者及び事業者等と連携し、運行情報等を円滑に集約・提供するための来場者輸送情報センター（仮称）の設置等を調整 [新規]
- ・会場内サイネージ等を用いて、交通機関等の運行情報を提供 [新規]
- ・会場内の混雑状況や交通機関の混雑予測に応じて、早期退場の呼びかけ等を実施 [新規]

11. 雑踏等に備えた警備誘導 < 8. 6) >

- ・退場時の混雑対策として、Osaka Metro 中央線等の混雑が深刻な場合、混雑状況に応じて夢洲駅の改札制限、東ゲートからの退場の一時的制限等を実施 [新規]
- ・P & R シャトルバス乗降場は予約時間どおりの来場者を優先乗車 [新規]

12. 災害・事故時における対応 < 8. 7) > [新規]

- ・事象発生時の対応について、関係機関と連携したタイムラインを検討 [新規]

13. 働きかけ TDM < 10. 1)、3) >

- ・通勤・通学又は業務交通需要が大きい平日を対象にTDM実施を呼びかけ [追記]
- ・協力企業の公募制度を設け、先進的・先導的な取組事例の発信等を実施 [更新]

14. 今後のスケジュール < 12) >

- ・次回改定（最終版）、2024年冬を目途に公表 [更新]